

■土方与志 日本初の専門演出家。小山内薫と{築地小劇場}興すも、爵位剥奪・亡命・帰国入獄、〈敗戦〉で共産党に。

ひじかたよし

子規句歌革新1898＝

東京・赤坂表町生まれ。明治政府で宮内大臣をつとめた伯爵土方久元の孫で、生後三か月のとき、父が自殺、西園寺公望の姪だった母方の加藤子爵家で祖母福子に育てられる。

幼時より演劇を親しむ環境に育ち、

日露戦争終・1905＝7歳：暁星小学校に入学と同時に父方の祖父久元の家に戻る。

韓国反日暴動1907＝9歳：

祖父久元が演劇好きだったことから熱心に取り組むようになって、

大逆事件判決1911＝13歳：学習院中等科に進学すると、友田恭助らと{南湖座}を結成し、夏休みに付近の老人らを相手に演劇、

明治天皇没・1912＝14歳：

学習院高等科に進んで大人の芝居を見ることを許され、{友達座}などの劇団を結成して没入して行く。

民本主義・1916＝18歳：

ロシア革命・1917＝19歳：

三島通庸子爵の娘梅子と結婚後、祖父が死去して伯爵を継ぐとともに、多額の負債も相続。

ベルリン条約・1919＝21歳：

*{友達座}で「タンジールの死」を上演する際に、新聞で女優を募集してスキャンダル化、宮内省から劇団の解体と演劇の禁止を申し渡されるも屈せず、演劇一筋に行くことを決意、

大暴落・・・1920＝22歳：

卒業して東京帝大国文科に入学、借金返済のため夜は自宅で株取引、大暴落を見越して大儲けし、

原敬首相暗殺1921＝23歳：

借金を完済すると、小石川の自宅に模型舞台研究所をつくり、伊藤薫湖らと展覧会を開催する。山田耕捧の紹介で小山内薫に師事、2代市川左團次の「俊寛」で小山内の助手をつとめ、演出の勉強をする。

水平社結成・1922＝24歳：

東京帝大中退してヨーロッパへ外遊、ベルリンで表現主義演出理論を学び、

関東大震災・1923＝25歳：

関東大震災の報を受け、モスクワでメイエルホリドの演劇体系を学んで帰国。

護憲三派圧勝1924＝26歳：

*私財を投じて築地小劇場を建設し、小山内や友田らと劇団築地小劇場をおこす。旗あげで演出した表現主義の「海戦」は新しい時代の到来を告げ、新劇活動の基礎を築いた。以後チャペック・カイゼル・トルレル・ストリンドベリ・ロマン＝ロラン・ショーなどの戯曲を演出、青年たちに新しい西欧の息吹を伝えた。

治安維持法・1925＝27歳：

円本時代始・1926＝28歳：

マルチネの「夜」上演以後左傾化し、内外の数多くのプロレタリア演劇を紹介する。

金融恐慌・・・1927＝29歳：

共産党事件・1928＝30歳：

小山内の死後、分裂した築地の一方の旗頭となり新築地劇団を結成、「吼えろ支那」「蜂起」「新説国姓爺合戦」「東洋車両工場」「風の街」「塵」「オセロ」などを演出後、

満州事変・・・1931＝33歳：

国際連盟脱退1933＝35歳：

西欧演劇視察を理由に渡欧、モスクワの国際オリンピックアードへ出席し、

帝人疑獄事件1934＝36歳：

*ソビエト作家同盟に日本代表として出席、小林多喜二の虐殺に触れる演説をした結果爵位を剥奪され、事実上、ソ連に亡命したが、

日中戦争始・1937＝39歳：

反革命肅清の余波で外国人退去となり、出国を余儀なくされる。フランスに逃れるも、

日米開戦・・・1941＝43歳：

生活に行き詰まって帰国、すぐに逮捕され、懲役5年の刑で豊多摩刑務所に収容される。

創価学会検挙1943＝45歳：

非転向を貫くうち、

敗戦・・・1945＝47歳：

敗戦後釈放され、東京芸術劇場の「人形の家」で演出を再開。

新憲法公布・1946＝48歳：

共産党に入党、

新憲法施行・1947＝49歳：

「なすの夜ばなし」、

極東裁判判決・1948＝50歳：

日本青年共産同盟文化部が設立した中央演劇学校校長となり、

朝鮮戦争始・1950＝52歳：

独立回復・・・1951＝53歳：

マーテ-事件・1952＝54歳：

日ソ文化連絡協会会長をつとめ、前進座・舞台芸術学院にも協力。

なべ底不況・1957＝59歳：

第一回新劇訪中団の団長として訪中し、

美智子妃・・・1959＝61歳：

没した。